

令和3年6月28日

名古屋美容専門学校
校長 塚本 紀之 殿

名古屋美容専門学校 令和2年度学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

委員長 松本 邦裕



「令和2年度自己点検・評価報告書」に対し、学校関係者評価委員会を実施しましたので、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 日 時 令和3年6月22日（火）9時45分～11時15分

2. 場 所 名古屋美容専門学校 6階 シャンプールーム

3. 出席者 11名

学校関係者評価委員 5名

松本 邦博	校長指名者	株式会社アフエクション	総務部長
林下 大輔	業界関連	株式会社 CLEAR	取締役
千田 祐司	教育の知見者	株式会社さんぼう	名古屋支社長
安藤 美子	保護者		
阿部 彩雲	卒業生		‘AXIS勤務

教職員 7名

塚本 紀之	校長
光部 達也	事務課長
垣本 勝三	広報係長
前田 利夫	教務主任
近藤 龍起	学年主任
神戸 克仁	学年主任
下田 智子	就職担当

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（各委員に自己点検評価報告書等は事前に送付済み）

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	3
(2) 学校運営	4	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	4
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	4	(10) 社会貢献・地域貢献	3

[評価基準] 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

I 重点目標について

令和2年度、コロナ禍でイベントやコンテストが従来通りできない中ではあったが、名古屋美容は可能な限り「学習を継続する」「進路を止めない」学校運営をしてきたことが伝わった。名美専はブランド樹立の段階に入っており、そのためには国家試験の高い合格率の常態化、コンテスト成果、第一希望サロンへの就職率75%に向けた指導に加えて包括的な職業実践教育の展開に力を入れている。昨年度、職業実践課程の認可がもたらえたことはこれまでの成果の一つとして報告された。3年度指針でも職業教育を意識して、教育の改善に取り組んでいく意欲の表明がなされたので、今後を見守りたい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・建学の精神を基本として、学校方針、3つのポリシー、基本的指導の3項目という展開を図り、保護者や学生に周知している。継続的に美容師養成のための職業教育をすることが重要と考えている。名美の特長として技術に取り組む真面目さなどがサロン関係者にしっかり感じられていると思います。

2 学校運営

- ・情報化についての現状確認と課題について説明がありました。昨年度のZoom導入に当たっては困難もあったかと思いますが、実現しており、現状では大きな問題は感じませんでした。学校側が情報化に対して意欲と意識を常に高く持っていることがわかりました。

3 教育活動

- ・常に産業界の変化を取り入れようとしている姿勢が感じられました。他校に勝る①国試指導、②コンテスト成果、③就職実績ができており、また、新たな資格取得にも挑戦していることがわかりました。

4 学修成果

- ・国試合格率および就職率、退学率ともに他校より高いが、さらに上を目指す姿勢が強く感じられました。コロナ禍にあっても、例年通りの成果を実現し、苦勞のほどを推察します。評価は3とさせていただきましたが、他校より高いレベルだと思っています。

5 学生支援

- ・先生たちが限られた時間の中で複数の支援をバランスよくやっていくことは大変だと思いますが、学内での配分をご検討いただければと思います。

6 教育環境

- ・コロナ禍に「学習を継続する」だけでも大変だったと思いますが、Zoomや課題学習でのレベルダウンを自己評価で指摘してありましたので、評価3としました。他校より意識のレベルが高いと思います。
- ・職業実践的教育のレベルの向上を目指すとの言葉がありました。産学連携などではサロンとしても学校を応援する所存です。
- ・学校が中心となりサロンを教育の中に入れてくれています。クリエイティブ・ワークやセミナー、インターンシップなど学校がいろいろな教育を工夫して提供しています。良いと思います。
- ・名美専が力を入れている産学連携は学生の職業意識形成や、意欲の向上に役立っていると思います。

7 学生の受入れ募集

- ・この少子化の時代に定員一杯を集めることは大変だと思います。特に問題ありません。良いと思います。

8 財務

- ・特に問題ありません。良いと思います。

9 法令等の遵守

- ・特に問題ありません。良いと思います。

10 社会貢献・地域貢献

- ・コロナ禍で一部のボランティアを中止し、また、社会貢献活動も自粛した実施方法にしたとのこと、仕方のない対応だと思います。学校では国試指導、コンテスト、就職指導を重視しており、社会貢献やボランティアはバランスの中でやっているようです。それで良いと思います。

11 国際交流

- ・毎年、卒業後に留学する者が2, 3名いるとの報告を受けました。自己評価で数値がなく、学校関係者委員会も数値評価はやめました。

III その他

- ・コロナ禍ではあるが、高校生の進路に大きな変化はないとの報告があった。また、名美の人気は高校生、サロンの両方から支持されていると思います。
- ・学校は「職業実践」という言葉を使い、本物に近い教育を強調されていました。サロンでも可能な限り協力したいと思います。
- ・名美を応援したいと思っているサロンは多いはずです。クリエイティブセミナーでもインターンシップでも卒業生講座でもいつでも協力させていただきます。

以上